

本校は、甲府市の最も東に位置し、周囲を特産のぶどう畑に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。校章にも、本校のシンボルとしてぶどうがデザインされています。

甲運小学校は、明治6年（1873年）に山梨県第11番学校「川田学校」として川田町寿徳院を仮校舎として創立され、今年で144周年となる歴史と伝統のある学校です。

平成30年度は53名の新入児童を迎え、全校14学級309名（4月3日現在）の児童が学んでいます。

平成22年に新校舎が建築され、幅の広い廊下や各階に設けられた多目的スペースなど、ゆとりのある広々とした校舎です。

校舎の南には、昭和44年の中央線複線化に伴う通学路の立体交差化工事の残土で造られた「ぶどっこ山」があり、様々な樹木や植物が植えられています。池には睡蓮が咲きメダカや金魚が泳いでおり、ビオトープ的な存在です。そこは、子どもたちの格好の遊び場、自然とふれ合う場になっていて、休み時間など子どもたちの元気な声が響いています。



【池の様子を眺める子どもたち】

学校教育目標は、『子どもたちが来たくなる学校』です。めざす児童像を児童にも分かる表現に構造化し、児童自身が自己評価できるようにするなどの工夫をし、学校教育目標の具現化を図っています。

本年度の研究では、「甲府スタイルの授業」をもとに、毎日の授業を大切にしながら互いの考えを伝え合う授業について考え、学力向上につなげていきます。

健康教育は本校の伝統であり、「体力向上」「健康増進」「食育」の研究実践を深め、「ペースランニング」や「健康かがやき積み立て」など、特色ある教育活動を行っています。

今年度も、児童・職員一丸となって、目標の実現に向けて精進していく所存です。

平成30年4月

甲府市立甲運小学校

校長 勝村 正樹